

スポーツ文化部

7月末に開催しました、防災講演会は、わが町の防災アドバイザー「花宮廣務」さんを講師に迎え、地球温暖化がもたらす豪雨災害のメカニズムや災害発生時「命を守るための備え」「命を守る避難方法」などお話をいただきました。また、由布市防災安全課の方による市の災害予測地域の説明や防災対策用備蓄品、避難所生活用品についてもお話いただきました。参加者の皆さんは近年の地震多発や豪雨災害に関心を持たれ普段聞くことのない由布市の対策や花宮さんのユーモアある講演にとっても満足していただきました。

11月に開催しました「挾間まちウォーキング」では、七蔵司地区にある「彫刻の丘」を目指しウォーキングを行いました。彫刻の丘には柚野先生のスケール圧巻の作品に驚きの表情。そして「挾間町にこんな場所があったなんて」と新たな発見もあり秋晴れの心地よいウォーキングとなりました。

スポーツ文化部では、子どもたちの安心安全を目的とし、各種講演会や行事を通して地域力、防災力の向上に繋げていければと思っています。そのためには、各少年団体や芸能団体の皆様方と活発な意見交換ができればと思っています。次年度も引き続きよろしくお願ひ致します。

防災講演会の様子



挾間まちウォーキングの様子



彫刻の丘



街頭指導部

地域の子どもの安全・安心を願って街頭活動をしています。

子どもたちが多く集まるお祭りやイベント等に参加しての見守り活動です。この活動には、挾間交番・柴田所長、挾間中学校、挾間小学校の先生や由布市挾間町少年補導員の皆様に参加していただくことが毎年の慣例となっています。

令和7年度は、8月23日の「はさま盆踊りまつり」・9月13日の「はさま花火大会」・11月9日の「はさまきょく祭」に、先のメンバーの方とともに実施しました。

県下一斉あいさつ運動も実施しています。数年前、コロナ禍のため県下一斉の活動は中止となりましたが、挾間町はその間も継続実施してきました。一昨年ほど前、県下一斉の活動が復活しました。令和7年度は11月21日に行いました。早朝にJR向之原駅で出勤や登校の皆様と挨拶を交わし、その後、小中学校の登校に合わせて各学校に移動し学校関係者や地域の方とともに挨拶運動を実施しました。

はさま盆踊りまつりでの見守り活動



県下一斉挨拶運動：由布川小学校前



由布市挾間



令和8年3月 発行
由布市挾間青少年健全育成市民会議
事務局：挾間公民館内
TEL：097-583-1118
FAX：097-583-1186

青少年健全育成市民会議

あいさつ

由布市挾間青少年健全育成市民会議

会長 枝木 東海



この冬の降雨量の少なさは、春を待つ草木にも大きな影響があるのではと心配しています。雨が少ないのは生活のしやすさもあってか、さほど気にならない自分がありますが、少雨高温の今の環境に危機感を持つ必要があると、ふと気づく自分もいます。

挾間町は大分川の流れてあり、水不足を感じる事は少ないのですが、他の地域では川から散水車で水を運ぶ農家さんの苦勞を、報道するニュースを目にした覚えがあります。自然との共生が必要であり、私たちも自然の中の一部として暮らす必要がある事を、忘れずに居たいと考えています。

昨年の挾間まちウォークで訪れた「彫刻の丘」を、何度か訪れる機会がありました。その時に「お客様が増えたよ」とのお声を頂きました。私たちの活動で、その良さに気付いてくれた方々が、静かに情報を広げて下さったのだと感じています。そこから、情報を埋もれさせない事の大切さを教えて頂きました。

様々な情報を、関係する多くの皆さんと共有して広めて行く事、これも一つの健全育成の道と考えています。今年度も、多くの活動を通じて挾間町の良さや、地元の方々が大切にされている「モノ」や「コト」を広める活動を続けて行きます。また、人と人との関係性を創り育てる活動も続けて行きます。

継続して、地域の大切な子どもたちと、挾間町を探索する機会も継続していきます。新たな発見を目指して、多くの方が参加したくなるような企画を考えて行きます。そして、地域に目を向けて行きます。

人と人が繋がる活動の中で、子ども達の笑顔を見守って頂けます様にお願ひ致します。

よその子もうちの子も、他人の幸せが自分を幸せにする。そんな事が、自分たちが生きる社会全体で感じられたら、それはきっと幸せの証となるのではないのでしょうか。

地域家庭学校部

今年度も地域の子どものふれあいを大切にする取り組みとして、はさま芸能祭などのイベント時に、「ありがとう」という感謝の言葉を広める啓発活動を行いました。

地域でのイベントや集会、行事等も減ってきていますが、「地域の子どもたちは、地域で育てる。」をモットーに、家のまわりで出会う子どもたちへの「声掛け」を心掛け、地域のふれあいを大切にして頂ければと思います。

はさまきょく祭りで啓発ブースの設置 はさま芸能祭でのポップコーン・綿菓子販売



広報啓発部(情報モラルコーナー)

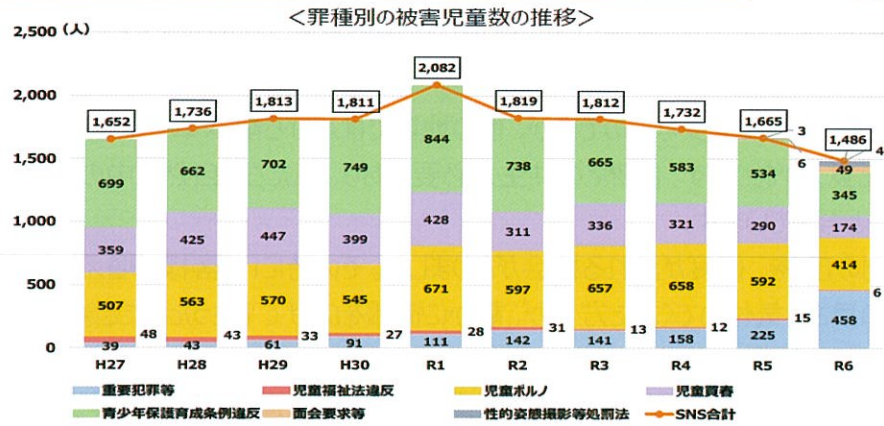
広報啓発部では、専門部会を開催し、内容について協議を行ってきました。

その中で、狹間町内5校の校長先生の紹介コーナーとして、NPO はさま未来クラブの広報紙「未来クラブ」及び、青少年健全育成市民会議広報紙10月発行号に掲載していますので、是非ご覧ください。

また、例年掲載している「情報モラル」のコーナーについて今年度は、警察庁が公表している「オンラインゲームをきっかけとする犯罪被害にあわないためには」の一部を抜粋してご紹介させていただきます。是非ご覧ください。

◎SNSをきっかけとする児童の犯罪被害の実態

SNSをきっかけとして、児童が性犯罪等に巻き込まれる事件が多く発生しています。SNSやオンラインゲームは楽しくて便利なツールですが、危険もひそんでいることを理解しましょう。



◎オンラインゲームを使う時に気を付けるポイント



オンラインゲームを使った性犯罪の被害にあわないようにするために大切なポイントは以下の3つです。

- ✓ 課金を肩代わりしてくれる話に安易に飛びつかない
- ✓ 見ず知らずの人と個別にメッセージのやりとりや通話をしない
- ✓ 「良い人」と思える人であっても信用しすぎない

おかしいと思うことがあったら、先生やおうちの人に相談することが大切です。また、オンラインゲームにはみなさんを守る機能があります。上手に設定して、安全に楽しくオンラインゲームを利用しましょう。

- **メッセージなどの受信範囲の設定**
→悪いことを考えている見ず知らずの人があなたに近づきにくくなります
- **ブロック・通報**
→あやしい人や他のSNSに無理に移行しようとする人をSNSの運営に知らせこれ以上あなたと連絡がとれないようにすることができます



相談窓口が開設されています。

- 夜間・休日を問わず、いじめや悩みごとの相談に対応
「24時間子どもSOSダイヤル」 0120-078-310 (大分県教育委員会)
- 身近な悩みごと等、さまざまな相談を受け付けています
「警察相談専用電話」 #9110 (大分県警察)

①ゲーム内の同盟メンバーは信頼できる人？

●ケース 男子高校生Aさんの場合

男子高校生のAさんは、オンラインのバトルロイヤルゲームに夢中になっています。

Aさんは、ランダムマッチングで出会ったBさんから「一緒に同盟に参加しないか」と誘われました。Aさんは、Bさんとは良い連携プレイが取れたので、もっと一緒にプレイしたいと思すぐに同盟に参加しました。

同盟のメンバーはみんなゲームが強く、どうしたら追いつけるかはずねてみると、課金アイテムを利用すると良いとアドバイスをもらいました。ただ、Aさんはアルバイトが禁止されていてお金が足りません。

すると、同じ同盟にいるCさんから、「簡単にお金が稼げるバイトを紹介できるよ」というメッセージが届きました。Aさんが興味を示したところ、Cさんから別のチャットアプリに移行するよう誘導され、駅前で受け取った荷物を運ぶように指示されました。Aさんはなんだか怖くなって断ろうと思いましたが、「断るなら個人情報をネット上に晒す」と言われ、引き受けました。

結果として、運び屋として違法薬物の売買に加担するはめになってしまいました。“お金が稼げるバイト”とは闇バイトだったのです。



どうすればこんなことにならなかったのでしょうか？

②画面の向こうにいるのは本当に同世代の「Eさん」かな？

●ケース 女子小学生Dさんの場合

女子小学生のDさんは、自分のアバターを育てるオンラインゲームを利用しています。

交流広場でチャットを楽しんでいると、とてもかわいいアバターを使っているEさんと知り合い、仲良くなりました。いつか、Eさんからはいつも仲良くしてくれるお礼として、有料のアイテムプレゼントが届くようになりました。小学生で課金ができないDさんは嬉しく思い、Eさんともっと仲を深めたいと思うようになり、他のSNSのIDを交換して日常的な会話や写真のやりとりもするようになりました。

ある日、Eさんから身体の悩みがあると打ち明けられ、「同年代のDさんの身体と比べたいから下着姿の写真を送ってほしい」と頼まれました。Dさんが恥ずかしくて送るのをためらっていると、「いつもプレゼントして助けてあげているのにそっちは助けてくれないだね」と非難され、負い目を感じたDさんは自撮り写真を送ってしまいました。

すると、その日を境にEさんからより過激な写真を送ることを要求されるようになり、Dさんは何枚もはだかの写真を送ってしまいました。



どうすればこんなことにならなかったのでしょうか？

③あこがれのあの人は本当に“良い人”かな？

●ケース 女子中学生Fさんの場合

女子中学生のFさんは、学校で流行っている対戦ゲームが気になってダウンロードしてみました。ゲームをすれば友だちの輪に入れるかなと思ったのですが、なかなか上達しないのであまり誘ってもらえず孤立しているような気持ちになっています。

うまくなりたと思って他のユーザーのプレイ動画を見ていると、男子高校生のGさんが目に留まりました。Gさんは声もかっこよく、プレイも上手なので仲良くなりたいと思ったFさんは、Gさんに個別メッセージを送り、上達方法を相談してみたところ、すぐに返事が返ってきました。その後もGさんはいつもやさしく教えてくれて、ボイスチャットをつなぎながら一緒にプレイするようになりました。

次第に、FさんはGさんにあこがれと信頼の気持ちを持つようになり、学校や家族の悩みも相談するようになっていました。

ある日、とてもつらいことがあってGさんに相談したところ、「直接会って話を聞くと」と言われ、近所のカラオケ屋で会うことになりました。約束の当日、Fさんが指定された部屋に入ったところ、そこで待っていたのは高校生ではなく40代の男でした。

Fさんが逃げようと思ったときにはもう遅く、Fさんはわいせつな行為を受けてしまいました。



どうすればこんなことにならなかったのでしょうか？

●Aさんの被害につながったポイント/被害にあわないためにはどうしたら良いの？

★同盟への参加は一息置いて考えよう

Aさんは、Bさんからの同盟加入の誘いにすぐOKしていました。
⇒ゲームで意気投合できたからといって、Bさんをすぐに信頼するのは危ないかも。同盟参加者のプロフィールを確認したり、危ない会話がなにか確認しましょう。もしも違和感があるようだったら同盟から抜けることも考えましょう。

★課金をしなくても楽しめる方法を考えよう

Aさんは同盟メンバーに追いつきたくて課金をしなければならぬと思いこんでしまいました。
⇒課金は自分のおこづかいでできる範囲にとどめましょう。ゲームによっては課金に年齢制限があったり、保護者の同意が必要だったりする場合があります。保護者とよく話し合ってから課金をしましょう。

★闇バイトに注意しよう

Aさんは、簡単にお金が稼げるという話に食いついて、犯罪行為に加担させられてしまいました。
⇒“ホワイト案件”“高額報酬・即日入金”など、闇バイトをほめかす言葉を使っていなくても闇バイトの可能性がります。1日だけでたくさん稼げる甘い話はワナかもかもしれません。



同盟でチャットをしたり一緒にプレイをしたりしていると、仲間意識が芽生えてくるかもしれませんが、その仲間意識や信頼感を悪用してあなたを闇バイトの世界に引きずり込もうとする人もいます。安易に個人情報を渡さない・アルバイト案件に興味を示さないことが大事です。

●Dさんの被害につながったポイント/被害にあわないためにはどうしたら良いの？

★プレゼントを受け取らない設定にしてみよう

DさんはEさんから有料のプレゼントをもらっていた良い目と、嫌われたくないという気持ちからEさんの言いなりになってしまいました。
⇒一方的に有料のプレゼントが贈られてきても、あなたがその対価として自撮り写真を送る必要は全くありません。とはいえやっぱり良い目は感じてしまうもの。誰からもプレゼントを受け取らない設定にできる機能もうまく活用してみましょう。

★見ず知らずの人にSNSのIDを教えたり、自撮り写真を送ったりするのはやめよう

DさんとEさんは、やりとりの場をオンラインゲームから他のSNSに移行し、日常的に写真を送りあうような関係になっていました。
⇒DさんはEさんとのやりとりを別のSNSに移行したことによって、より深い会話ができるようになり、さらなる安心感をいだいてしまったかも。オンラインゲームではSNSのID交換が禁止されている場合もあります。ルールと自分自身の安全を守りましょう。

★「相手の情報はうそかも？」とうたがってみよう

DさんはEさんと同じゲームが好きで同年代の女の子だと思ってしまいました。
⇒相手はあなたの気を引いたり安心させたりしてくれて、わざとうそをついて、あなたと共通点を持っているかのように装っているかも。特にとく名性の高いオンラインゲームでは、情報の信ぴょう性に注意が必要です。



一方的に有料のプレゼントを受け取り続けていると、相手への良い目・嫌われたくないという気持ちが大きくなり、おかしいな？と思う要求にも従ってしまうことがあります。プレゼントを受け取らない設定にする・他のSNSに移行しない・おかしい要求はのまらずに相談や通報をすることが大事です。

●Fさんの被害につながったポイント/被害にあわないためにはどうしたら良いの？

★見ず知らずの人に個別メッセージを送らないようにしましょう

Fさんは、Gさんのプレイ動画に興味を持って、自ら個別メッセージを送信していました。
⇒プレイ動画がかっこよくても画面の向こうにいるのがどんな人かは分かりません。見ず知らずの人と関係性を深めるきっかけを自ら作るのはやめましょう。

★ボイスチャットの使い方に気を付けよう

FさんはボイスチャットでGさんが高校生だと判断してしまいました。
⇒声を聞けば相手の年代が分かると思っただけで大間違い。最近はボイスチェンジャーで声を変えることも簡単です。ボイスチャットの情報だけで安易に相手の属性を判断しないようにしましょう。
⇒ボイスチャットで生活音やあなたの個人情報がもれないようにすることも忘れずに。

★「グルーミング」に気を付けよう

Fさんはゲームがうまくて優しいGさんにあこがれて信頼しきってしまいました。
⇒あなたの不安や「人にみとめられたい」という気持ちにつけこむ人がいるかも。これは「グルーミング」といって、相手との関係性をコントロールして、自分の性的欲求を満たすことにつなげようとする行為です。やさしい言葉をかけてくれるからといって心を開いてしまうと、つけ入るスキを与えてしまう可能性があります。



いくら親身に話を聞いてくれたとしても、あなたと同年代の“良い人”とは限りません。やりとりをする中で「いつもやさしい言葉をかけてくれる特別な人」思うようになってしまっても、おかしい要求や言動がみられた場合は返信をせず、先生やおうちの人に相談しましょう。また、そもそも見ず知らずの人とは1対1のやりとりができないように設定することも大切です。